

カメムシの発生はやや少ないだが・・・  
高温条件下でカメムシの吸汁は活発化！  
予察を行いながら、十分なカメムシ防除を！

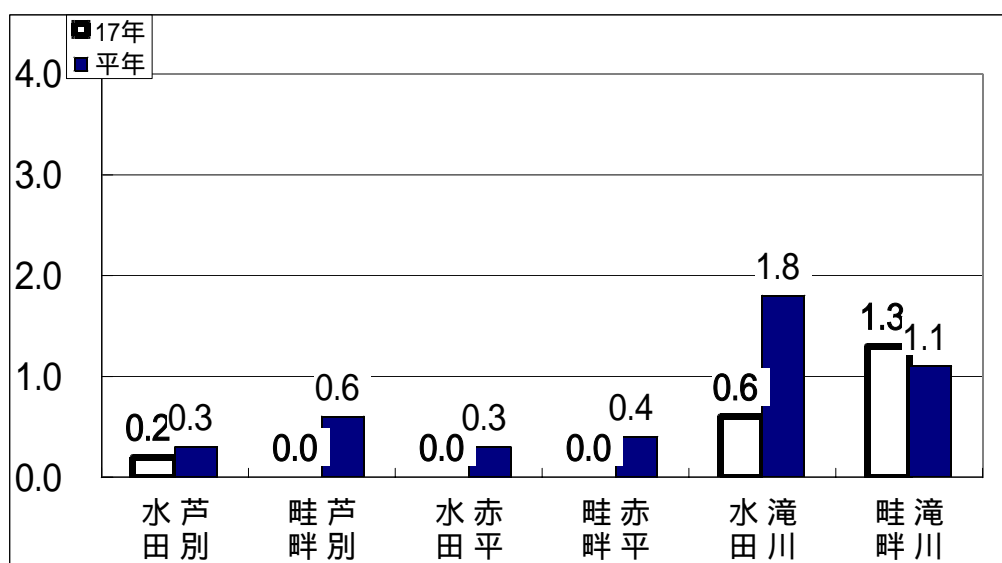
J A たきかわ 営農部  
空知東部地区農業改良普及センター

## カメムシの発生状況 - やや少ない

表 - 1 カメムシ捕獲状況 ( 8 / 12 関係機関調査 )

	芦 別 市		赤 平 市		滝 川 市	
	水田内	畦 畔	水田内	畦 畔	水田内	畦 畔
H17年	0.2頭	0.0頭	0.0頭	0.0頭	0.6頭	1.3頭
平年値	0.3	0.6	0.3	0.4	1.8	1.1

20回振り  
当たり平均  
頭数



カメムシの発生は、全体的にやや少ない状況ですが、30 前後の高温が続いていることから、加害能力は、通常の2～3倍に高くなっているため、依然として注意は必要です。

防除後5日目にカメムシの発生予察を行い、防除基準の20回振り当たり：2.0頭以上（ほしのゆめ：1.0頭以上）の場合は、直ちに防除を行います。基準以下の場合は、防除後10日目にすくい取りを！

過剰に乾わかず（1cm以上のヒビが入った）と、腹白粒の多発を助長する恐れがあります。乾いている水田は、直ちに走り水、間断かんがいを実施しましょう！